

ハイパーピストンKIT No.1/3

商品コード	(ハイパー P-KIT) 355-4030100	(ハイコンプ P-KIT) 350-4030100 ※	(ハイカムシャフト) 300-4030000
適合車種	Z125 プロ (BR125H)		







注意!

- エンジン本来の性能を最大限に引き出す為、当社製マフラーに交換して下さい。他社製マフラー等をご使用の場合は燃調セッティングが必要です。
- ガソリンは無鉛プレミアムを使用して下さい。高圧縮の為、レギュラーではノッキング等の原因となります。
- ※ハイコンプピストンのみのご使用はお控えください。効果を得れないばかりか最悪の場合、破損する恐れがあります。

- この度はキタコ製品をお買い求め頂き誠に有り難うございます。説明文を良く理解して正しい取付を行って下さい。
- 装着には当製品の他に、各種専用工具が別途必要です。
- 装着後も当用紙をセッティングマニュアルとして、ご使用下さい。
- ※補修用単品パーツについては説明書が入っていませんので、この説明書は大切に保管して下さい。

■製品、装着についての注意 (必ずお読み下さい)

- このパーツはレース専用設計です。従って、本来はクローズドコース専用での使用を目的としている為、一般公道で使用される場合は、道路運搬車両法及び、道路交通法に従い、法定内での運転を心掛けて下さい。事故、道路交通法違反は、全て運転手本人の責任とし、当社は一切の責任を負いませんので御了承下さい。
- 他社製品を装着することにより、i-map ※) のセッティングが必要な場合がございます。(弊社マフラーとの組み合わせではノーマル ECU の補正範囲でセッティングが出ている状態ですが、レーシングマフラー等の組み合わせではサブコン等でのセッティングが必要な場合があります。)
- ※ Z125PRO 用インジェクションコントローラー開発中
セッティングがそのままの状態で行うとパワーアップできないばかりか、焼き付き、破損等の原因にもなります。必ずエンジンに見合ったセッティングを施して下さい。
- 取付説明書の手順通りに正しく取付をおこなって下さい。又、記載されている追加加工以外の加工はしないで下さい。
- 組み付け及び、セッティング作業は必ず整備士資格のある方が行って下さい。また周辺部品の役割等が理解できない方は必ず、専門店の担当者又は、当社までご相談下さい。
- エンジンオイルはならし運転終了後 (約 100km)、必ず新品のエンジンオイルに交換して下さい。
- エンジンの振動により、ボルト、ナット類が緩む可能性があります。走行前は必ず、各部のボルト、ナット類の締め具合を確認して下さい。
- 各部パーツを必ず、洗油 (パーツクリーナー等) で洗浄し、オイルライン系の詰まり等が無い、エアアダプター等を使用して、必ず確認して下さい。
- パーツ各部を組み立てる際に必ず、使用されるエンジンオイルを塗布しながら作業を行って下さい。
- このパーツを装着することにより、出力特性がノーマルと異なりますので、その出力に見合ったブレーキの強化、操縦安定性の向上等を施し、十分注意してライディングして下さい。
- スパークチェックの為、シリンダー外でプラグをスパークさせる行為は、絶対に行わないで下さい。引火し、爆発しますのでご注意ください。
- 取付の際、必ず車種ごとのメーカーサービスマニュアルと合わせて取付作業を行って下さい。

	当用紙はオートバイ整備の基本的な知識を持った方を対象にしています。技能や知識をお持ちにならない方は作業を行わないで下さい。		十分な換気をして下さい。作業中は揮発性の高いガソリンを使用します。長時間密閉された室内で作業をしますと身体に有害です。		火気厳禁 作業中は引火性の非常に高いガソリンを使用しますのでタバコ等は厳禁です。
	お気付きの点や、異常を発見した場合は直ちに走行を停止して、当社まで、ご連絡下さい。		エンジン作動中、作動後はシリンダーやクランクケース、エキパイ等が大変高熱になっていますので、不用意にふれてはいけません。		スパークチェックの為、シリンダー外でプラグをスパークさせる行為は、絶対に行わないで下さい。引火し、爆発しますのでご注意ください。

仕様様元	必要工具及び補修パーツ
<ul style="list-style-type: none"> ●排気量：124cc ●ノーマルサイズ [ボア] 56.0X [ストローク] 50.6mm ●圧縮比 12.1:1 (ノーマル 9.8:1) ●使用燃料：無鉛プレミアムガソリン ●バルブクリアランス標準値 (冷間時) IN バルブ：0.06 ± 0.02mm EX バルブ：0.10 ± 0.02mm 	<ul style="list-style-type: none"> ●各種一般工具 ●シックネスゲージ (市販品)

必須オプションパーツ (別途お買い求め下さい)				
	パーツ名	商品コード	個数	備考
推奨	elf MOTO4 プロテック	5w40 1L	968-2000021	× 1
エンジンオイル	PANOLIN STREET 4T RACE	10W/50 1L	968-2996001	× 1

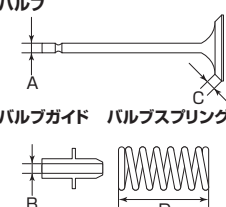
パッキングリスト () 内の個数は1SETの内容数		ハイパーピストン	ハイコンプ	
図記号	パーツ名	355-4030100	350-4030100	備考
A	ハイカムシャフト	300-4030000	×	1
B1	φ 56 ハイコンプピストン	351-4021000	×	1
B2	φ 56 ピストンリング (0.8-0.8-1.5)	352-4021000	×	1
B3	ピストンピン 13 × 40 × 8	353-0001340	×	1
B4	ピストンピンクリップ 13mm	354-0000130	×	2
C1	ヘッドガスケット (φ 56)	961-4021000	×	1
C2	ベースパッキン	962-4021000	×	1
C3	インテークパイプサイドガスケット	950-4030000	×	1
C4	ヘッドサイドガスケット	966-4030000	×	1
OP1	EX ガスケット (K-12)	70-963-14012	×	1 ※
OP2	チタンナット	303-1013711	×	2 ※

組み付けにあたって、必ず下記の注意事項を守って下さい

- ⚠ 純正パーツを使用する前に各パーツの基準値及び、使用限度を必ず点検して下さい。摩耗や破損がある場合は新品の純正パーツをご使用下さい。また新品のシリンダーでも歪んでいる場合があります。その場合、下記に従って調整を行って下さい。点検せずに組み付けるとエンジントラブルの原因となります。

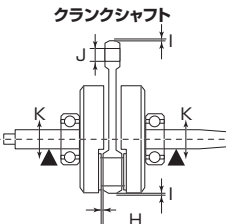
サービスガイド (摩耗や破損がある場合は新品の純正パーツに交換して下さい)					
項目			標準 (mm)	使用限度 (mm)	注意事項
バルブ	A	ステム外径	IN	4.475 ~ 4.490	4.46
		EX	4.462 ~ 4.472	4.44	
	B	ガイド内径	IN/EX	4.500 ~ 4.512	4.58
バルブガイド	C	バルブシート当り幅	IN/EX	0.80 ~ 1.15	-
バルブスプリング	D	自由長	IN/EX	36.8	35.5
	E	内径		55.986 ~ 55.998	56.09
	F	真円度		0.01	0.05
シリンダー	G	円筒度		0.01	0.05
	H	コンロッド大端部	サイドクリアランス	0.1 ~ 0.2	0.4
	I		ラジアルクリアランス	0.006 ~ 0.020	0.07
クランクシャフト	J	コンロッド小端部	内径	13.003 ~ 13.014	13.05
	K	クランクシャフトの振れ		TIR 0.03 以下	TIR 0.08

バルブ

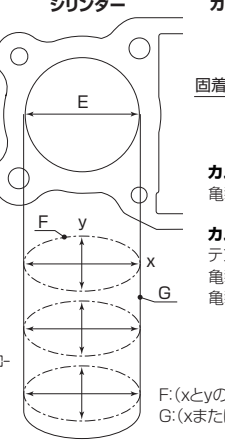


バルブガイド **バルブスプリング**

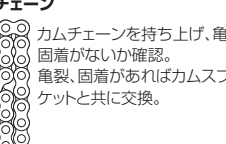
クランクシャフト



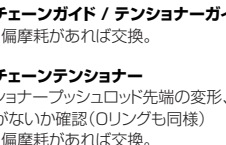
シリンダー



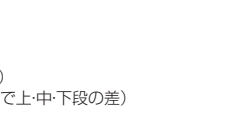
カムチェーン



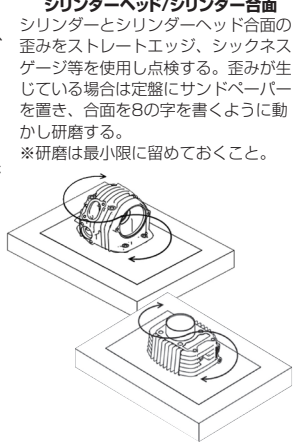
カムチェーンガイド / テンショナーガイド



カムチェーンテンショナー



シリンダーヘッド/シリンダー合面



F: (xとyの差)
G: (xまたはyで上・中・下段の差)

シリンダーヘッド/シリンダー合面
シリンダーとシリンダーヘッド合面の歪みをストレートエッジ、シックネスゲージ等を使用し点検する。歪みが生じている場合は定盤にサンドペーパーを置き、合面を8の字を書くように動かし研磨する。
※研磨は最小限に留めておくこと。

カムチェーン
カムチェーンを持ち上げ、亀裂、固着がないか確認。
亀裂、固着があればカムスプロケットと共に交換。

カムチェーンガイド / テンショナーガイド
亀裂、偏摩耗があれば交換。

カムチェーンテンショナー
テンショナープッシュロッド先端の変形、亀裂がないか確認 (Oリングも同様)
亀裂、偏摩耗があれば交換。

ハイパーピストン KIT No.2/3

商品コード	(ハイパー P-KIT) 355-4030100	(ハイコンプ P-KIT) 350-4030100	(ハイカムシャフト) 300-4030000
適合車種	Z125 プロ (BR125H)		

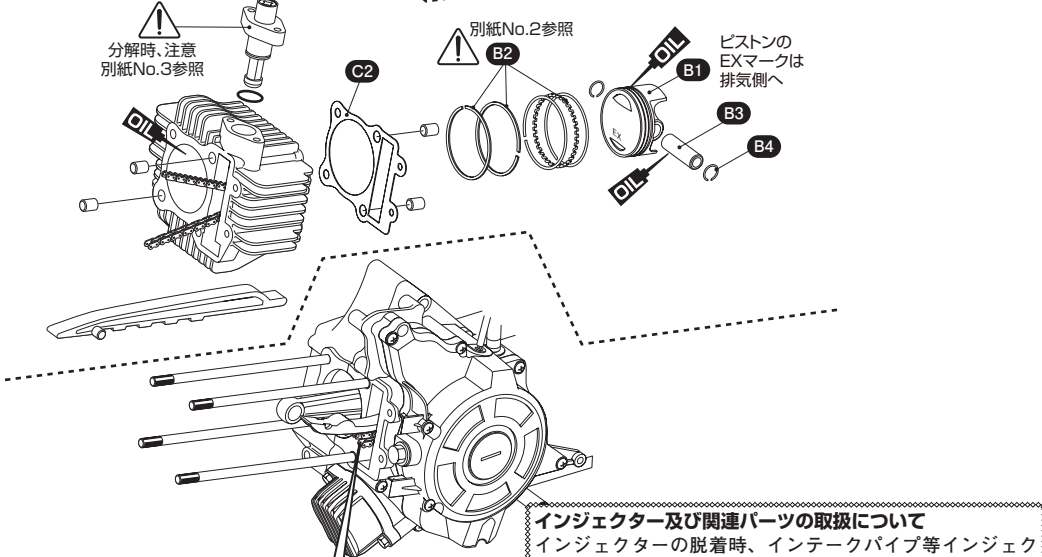
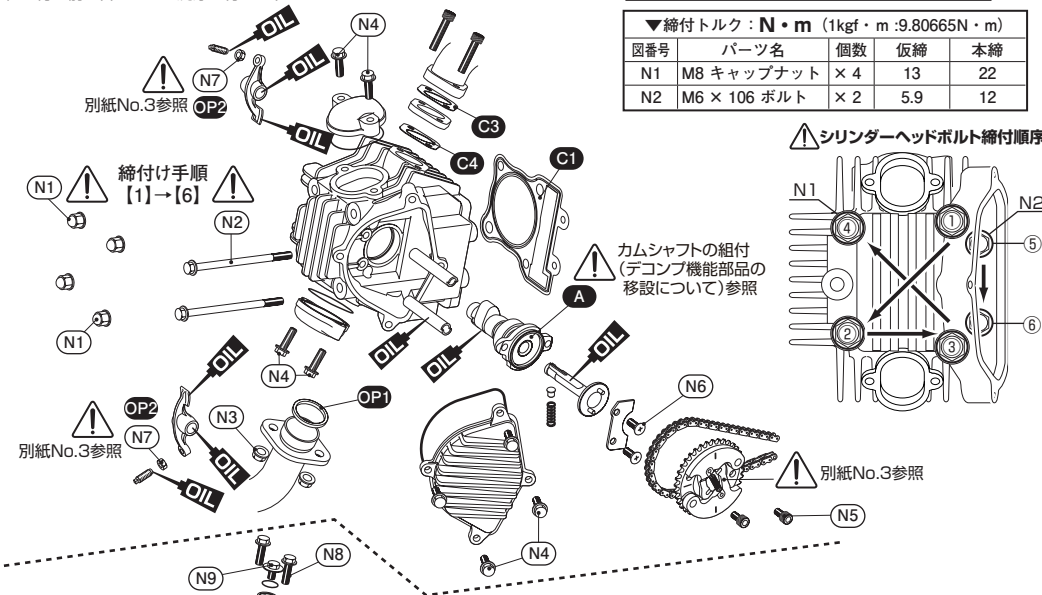
シリンダー部のパーツ

付属されていないパーツは基本的にノーマルパーツを再使用します。
再使用するパーツに傷、へたり、摩耗等の劣化が著しい場合は新品と交換して下さい。
組み付け前に各パーツの洗浄を行って下さい。

注意マークは表の備考覧、詳細事項参照
 マークは使用するエンジンオイルを塗布

▼締付トルク：N・m (1kgf・m :9.80665N・m)

図番号	パーツ名	個数	仮締	本締
N1	M8 キャップナット	× 4	13	22
N2	M6 × 106 ボルト	× 2	5.9	12



脱着時、チェーンがクランクケース内に落ちないように針金で結んでおくことで作業がしやすくなります

インジェクター及び関連パーツの取扱について
インジェクターの脱着時、インテークパイプ等インジェクター周辺パーツ、フューエルホースには絶対にホコリなどが入らない様ご注意ください。万一ホコリ等が入ってしまうとインジェクターが目詰まりを起こし正常に作動しなくなる恐れがあります。

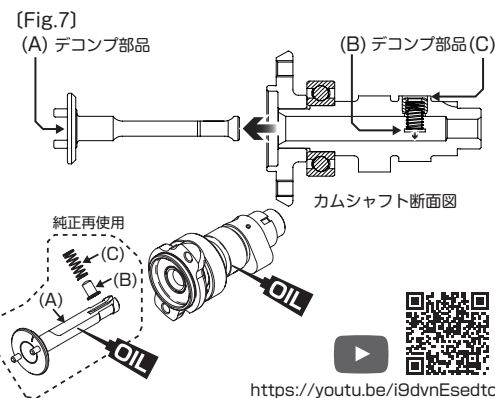
締付トルク：N・m (1kgf・m :9.80665N・m)

図記号	パーツ名	個数	N・m
N1	M8 キャップナット	× 4	22
N2	M6 × 106 ボルト	× 2	12
N3	M8 フランジナット	× 2	12
N4	M6 × 20 ボルト	× 8	5.2
N5	M6 × 12 キャップボルト	× 2	12

カムシャフトの組付 (デコンプ機能部品の移設について)

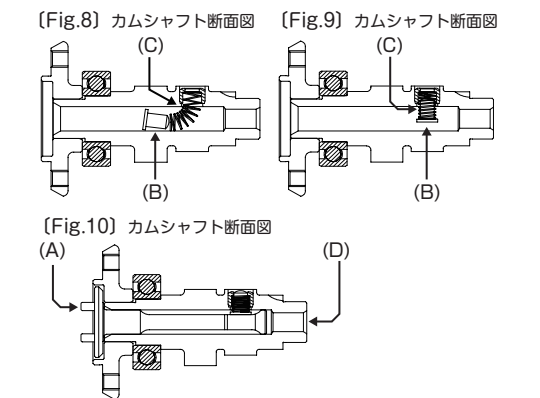
分解方法
※デコンプ部品の移設には、ラジオペンチとピンセット等を使用します。
・[Fig.7] に示している (B) 部品が飛び出していない状態で、(A) を傷が付かないようラジオペンチで掴みながら引き抜きます。
・(B/C) の部品がカムシャフト内に残っているため、ピンセット等で (C) スプリングをずらして抜き取ります。

カムシャフトの分解



組立方法
ハイカムシャフトにデコンプ部品を移設します。
・ピンセット等で (C) を圧縮しながら、カムシャフト内部に挿入します。 [Fig.8]
・(B) を (C) の内側に入れてから向きを正します。 [Fig.9]
・(D) 側の孔からピンセット等で (B/C) を押し上げながら、(A) を挿入します。 [Fig.10]

カムシャフトの組立



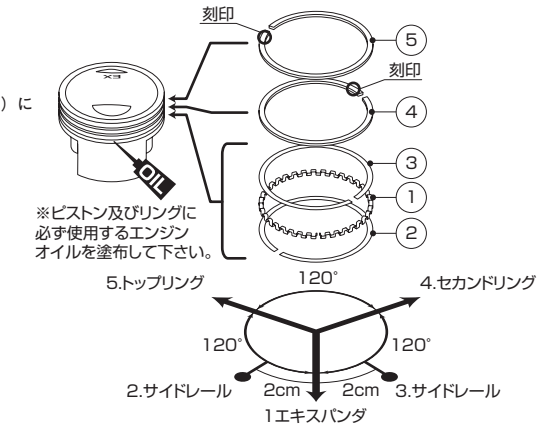
ピストンリングの取付

ピストンリングを図の様に取付けます。
“POINT”
●リングの合い口を図の様に振り分けて下さい。
●トップリング、セカンドリングは刻印がある方を上向き (ヘッド向き) に
●エキスパンダ及び、サイドレールには上下の向きはありません。

図中のパーツデータ (番号順に取り付けて下さい)

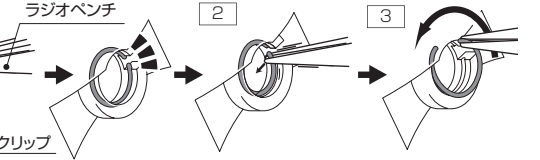
番号	パーツ名称	個数
1	エキスパンダ	× 1
2/3	サイドレール (上下共通)	× 2
4	セカンドリング (黒色)	× 1
5	トップリング (白色)	× 1

※ピストンの装着の向きは EX マークを排気側に向けます。



ピストンピンクリップの脱着方法

1) ピンクリップをラジオペンチで挟み、ピンクリップの合い口をピストンの合い口付近までたくり寄せます。
2) ピンクリップの合い口の先をラジオペンチで挟み内側に引き込み、外側へひっぱり出して外します。
3) ゆっくりと回転させながら、ピンクリップを外します。
※ピンクリップが弾け飛ぶ恐れがあります。十分注意して作業をおこなしましょう。
●ピンクリップの取り付けは取り外した逆手順でセットして下さい。



ハイパーピストンKIT No.3/3

商品コード	(ハイパー P-KIT) 355-4030100	(ハイコンプ P-KIT) 350-4030100	(ハイカムシャフト) 300-4030000
適合車種	Z125 プロ (BR125H)		

カムシャフトスプロケットの脱着方法

●取外し

- 1) オルタネーターフライホイールの「Tマーク」がクランクケースの位置合わせマークに合っている事を確認して下さい。(図参照)
- 2) カムシャフトチェーンテンショナーを取り外します。(チェーンテンショナー図参照)

注意!

カムシャフトチェーンにたるみがある時は、チェーンを上方に引っ張りながらクランクシャフトを回して下さい。たるみがあるとクランクシャフト側のスプロケットとクランクケースの間にチェーンがかみ込み、破損する恐れがあります。これにより下側(クランクシャフト)スプロケットのチェーンがたるみません。

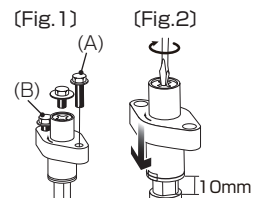
●取付

- 1) ピストンを圧縮上死点位置にする為、オルタネーターフライホイール(クランクシャフト)を反時計方向に回し、フライホイールの合わせマーク「T」とクランクケースの合いマークを一致させ、カムスプロケットの「I」マークがシリンダーヘッドの合いマークに揃っている事を確認します。一致していない場合は、カムスプロケットの再組み付けを行います。
- 3) オルタネーターローターナットを工具にかけてクランクシャフトを固定し、カムスプロケットボルトを締め付けます。(ボルトにネジロック剤塗布)
- 4) カムシャフトチェーンテンショナーを取り付けて下さい。(チェーンテンショナー図参照)
- 5) バルブタイミングを次のように点検して下さい。カムシャフトを反時計方向に2回転させ、クランクシャフトが上死点に来たところでバルブタイミングを再点検します。(タイミングマークが合っている場合は、バルブのタイミングは正しい)

注意!

カムシャフトのタイミングが合っていない状態でクランクシャフトを回転させると、バルブが互いに又はピストンに接触し、バルブが曲がる原因となります。クランクシャフトを回している時に何らかの抵抗を感じた場合は、直ちに止めてバルブのタイミングを点検して下さい。

カムチェーンテンショナーの調整



カムシャフトチェーンテンショナーについて

注意!

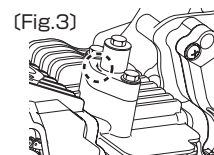
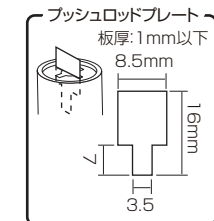
カムシャフトチェーンテンショナーはノンリターン式ですので、プッシュロッドが一旦、突き出ると元に戻りません。テンショナー取り外し時、テンショナー本体がシリンダーから一旦、離れたら完全に取り外して下さい。途中から取り付けると破損の原因となります。テンショナーを取り外している間、クランクシャフトを回さないで下さい。カムシャフトチェーンのタイミングが狂う等、破損の原因となります。

●テンショナーの取外し

- ・カムチェーンテンショナーキャップボルトを取り外し、チェーンテンショナー取り付けボルト(A)を外してから、(B)は完全に緩めます。[Fig.1]
- ・プッシュロッドが伸びた状態では、スターターモーターとテンショナーが干渉し、テンショナーを取り外すことができない為、マイナスドライバーを使用してテンショナー本体を時計方向に回してプッシュロッドを圧縮しながら、テンショナー本体と(B)を取り外します。

●テンショナーの取付

- ・マイナスドライバーを使用してテンショナー本体を時計方向に回してプッシュロッドを圧縮しながらロッドの突起をテンショナー本体から10mmの位置まで移動させます。[Fig.2]
- ※テンショナーを取り付ける前にロッドを反時計回りに回さないでください。ロッドが分離して再取り付けできなくなる可能性があります。
- ・図のようなプッシュロッドプレートを使用してロッドの位置を保持した状態でシリンダーに取り付けて下さい。
- ※テンショナー本体のマークが車体前方になるよう取り付けます。[Fig.3]
- ・テンショナー本体の取り付け終了後プレート外してキャップボルトを取り付けて下さい。



バルブクリアランスの設定

- 1) クランクシャフトを反時計方向に回し、フライホイールの「T」マークをクランクケースの合いマークに合わせます。
※吸気バルブ(ロッカーアーム)が下がって再び上がる位置でフライホイールの「T」マークラインを合わせます。
- 2) アジャストスクリューとバルブステムの間にシクネスゲージを入れ、インテーク、エキゾーストのバルブクリアランスを点検します。

●バルブクリアランス標準値(冷間時)

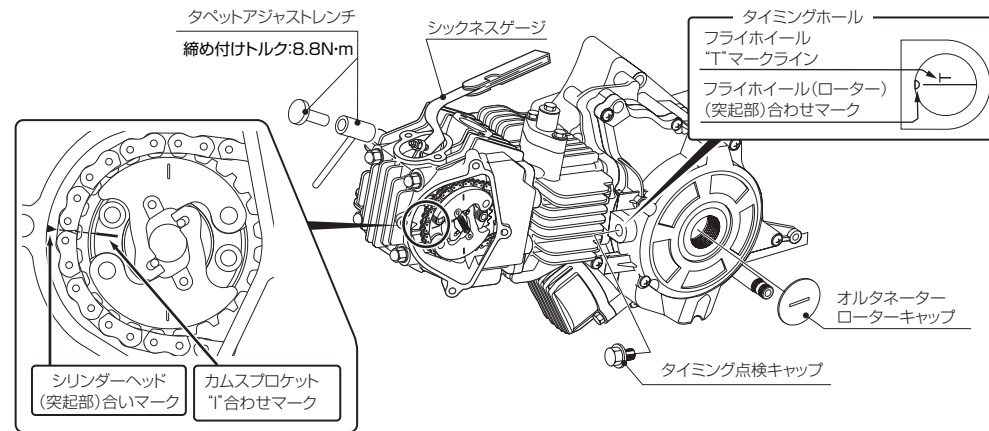
INバルブ : 0.06 ± 0.02mm

EXバルブ : 0.10 ± 0.02mm

調整

- 1) 調整はロックナットをゆるめ、アジャストスクリューを回して規定のバルブクリアランスに調整します。調整後、アジャストスクリューを固定した状態でロックナットを締め付けます。ロックナット締め付け後、再度バルブクリアランスを点検します。
(締め付けトルク : 8.8N・m)
- 2) 各ホールキャップのOリングの状態を点検し、必要があれば交換し、Oリングにエンジンオイルを塗布し、バルブアジャストホールキャップ、カムスプロケットカバー、オルタネーターローターキャップ、タイミング点検キャップを取り付けます。

バルブクリアランスは、圧縮上死点(各合わせマークが合わさった状態)でクリアランス調整します。



■製品の保証について

●製造には万全を期しておりますが、万一当社の製造上の原因による品質不良がありました場合は同様、同数の新しい製品とお取り替え、又は無償修理致しますが、それに伴う故障、破損、事故等についてのパーツ代金、整備費用の代償はご容赦下さい。



170501 M-T
〒577-0015
東大阪市長田 3-8-13
TEL.06-6783-5311 (代)
FAX.06-6782-0740